

障がいがあってもピアノは弾ける♪音楽は楽しめる！

風の音コンサート

活動の目的

様々な障がいや難病をもちながら音楽を演奏する人たちへの演奏機会を岡山県内で主催することで、演奏者と指導する方々を始めとする、理解者、支援者の増加を目指しています。

岡山県の人たちに、障がいがあってもピアノは弾ける♪音楽は楽しめる！ということをもっと知ってもらうためにコンサート活動を継続し、普及することを目的としています。

活動の内容及び経過

倉敷市玉島市民交流センター湊ホールにて、障がいがあってもピアノは弾ける♪音楽は楽しめる！をモットーに演奏活動をされている障がい（難病）のある方のコンサートを開催しています。2年前までは、演奏中心のコンサートでしたが、講演をしてもらうことで、障がいや難病への理解が深まる機会作りをしています。

5月27日 障がいがあってもピアノは弾ける♪風の音コンサート10周年記念公演第1弾。ゲストとしてダウン症で右腕発育不全の鈴木凜太郎さんによるピアノ演奏とお母様による講演。ソロ演奏中心のコンサートを開催。障がいについて理解を深めてもらうため、主催者による聴覚障害についての講演を実施。演奏者は、自閉症、発達障害、ダウン症、上肢障害、内部障害、難病などの方と、指導者など。来場者 約120名。

9月2日 障がいがあってもピアノは弾ける♪風の音コンサート10周年記念公演第2弾。ゲスト 左手のピアニスト床次佳浩さんによるピアノ演奏とトークセッション。アンサンブル中心のコンサートを開催。演奏者は、自閉症、発達障害、上肢障害、視覚障害、内部障害、難病などの障がいを持つ人と、指導者、家族、グループメンバーなど。来場者 約200名。

活動の成果・効果

10年間のコンサート開催を継続する中で、毎年少しずつではありますが、演奏者、指導者が増加傾向にあります。また、FMくらしきプリティウーマンのアナウンサーの方々を始めとし、旭化成株式会社OB会の皆様など、地域の方々の協力も生まれてきました。演奏者、指導者をとりまく支援者、応援者の広がりを感じることができ、今後とも様々な人との連携によって、今後につながる新しいヒントが見えてきました。

2017年は10周年記念コンサートとして5月と9月に2回開催したことで、演奏者、指導者、ご家族、支援者との交流機会が増え、意見交換できる良い機会となりました。



県内の出演者の増加だけでなく、県外からの参加希望者も増え、広がりを感じ取れるようになりました。

今後の課題と問題点

風の音コンサートを継続してきたことで、演奏者が増えてきたことは良かった点です。また、発達障害への理解が広まったこともあり、指導者や支援者も増加傾向にあるように思います。

しかし、難病を抱える人や、内部障がいを持つ人のQOLを高めるための、理解や支援が課題であり、問題点だと感じています。

風の音コンサート内で、少しずつ講演をすることで理解者、支援者の増加を見込みます。

- 代表者：篠原加代子 ●所在地：倉敷市中島
- TEL：080-9874-9321 ●E-MAIL：jwpggh260@ybb.ne.jp
- URL：Facebook：風の音コンサート
- 設立年：2007年 ●メンバー数：10名